

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年2月19日)

➤ **ウクライナ軍の東部(ドネツク州)及び南部(ザポリヅジャ州)における攻勢が停滞する一方、露軍は、東部(ドネツク州及びハルキウ州)で攻勢を強めるとともに、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を強化している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT8月18日)

: 死者約15万人 (「ウ」軍総司令官11月1日)

「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT8月18日)

: 死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN12月4日)

- シルスキー「ウ」軍総司令官は、**アウディウカ**周辺の戦況を踏まえ、軍人の生命を守るため、同市から**部隊を撤退させることを決定**したと発表。ウメロフ「ウ」国防相は、**アウディウカの教訓**として、KAB誘導爆弾の使用を防ぐ**最新の防空システム**や敵の倉庫を破壊する**長射程兵器**、そして**砲弾**が必要である旨指摘(2月17日)。一方、「ウ」軍の作戦部隊指揮官によれば、2023年10月10日から2024年2月17日の間に、**露軍はアウディウカ正面で47,186人の兵士と、戦車364両を含む装備品約1,300を喪失**したと指摘(2月18日)
- 露国防省は、**露軍がアウディウカを完全に掌握し、約32km<sup>2</sup>を解放**したと発表するとともに、工場に潜伏した「ウ」部隊を包囲する措置を講じている旨発表。ショイグ国防相から同市解放の報告を受けた**プーチン大統領は、「重要な勝利だ」として、露軍兵士らを称える**声明を発表(2月18日)

- ゼレンスキー大統領は、独及び仏を訪問し、両国と2国間と長期的な安全保障協定を締結。**独は、防空システムや弾薬等11億3,000万ユーロの追加支援も表明。仏は、2024年中に最大30億ユーロの軍事支援を行う旨表明**(2月16日)
- ロイター通信は、米国防総省高官の話として、「ウ」における**露の戦費が最大2,110億ドル**に達し、**武器輸出の取りやめや延期に伴う損失も100億ドル以上**に上り、**2026年までに露の経済的損失は1兆3,000億ドル**になると報道。また、これまでに**露軍兵士約31万5,000人が死傷**し、黒海では露海軍の中・大型艦艇20隻が破壊・損傷したと指摘(2月19日)



- 「ウ」空軍は、「ウ」各地に飛来した露軍ミサイル×26発のうち、13発を撃墜したと発表(2月15日)
- シルスキー「ウ」軍総司令官は、**東部方面において露軍戦闘機Su-34×2機及びSu-35×1機を撃墜**した旨発表(2月17日)
- 「ウ」空軍は、**露軍戦闘機Su-34×1機を撃墜**したと発表(2月18日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等